



表彰された宇宙利用グループ開発担当者(左から上野、田中(勲)、寺門、並木)

宇宙航空研究開発機構(JAXA)様より表彰状をいただきました

国際宇宙ステーション(ISS)に滞在中の若田宇宙飛行士が、世界初となる宇宙からのアイソン彗星の4K動画撮影を、2013年11月23日に行いました。

明星電気は、この時に若田宇宙飛行士が使用した超高感度4Kカメラシステムの宇宙搭載化を担当しました。この宇宙搭載化を極めて短期間で実現し、アイソン彗星の撮影、宇宙初の4Kカメラ生中継の実現等に大きく貢献したとして、宇宙航空研究開発機構(JAXA)様から表彰されました。

現在も、4KカメラシステムはISSからの地球撮影等、撮影対象を変えて使用されています。明星電気は、これからも技術力を活かして日本の宇宙開発に貢献していきます。

(当社広報担当:経営企画室)



期間中の会場状況(上)
出展したJMBSOブース(下)

第94回アメリカ気象学会(94th AMS)に参加！

明星電気は、米国ジョージア州アトランタでAmerican Meteorological Society (AMS)主催の第94回年次大会(2月3日～6日)に参加しました。

この大会は、大規模な国際学会(併設機器展示会)の一つで、研究者・学生など3千人を超える参加となりました。当社は昨年同様、気象業務支援センター(JMBSO)様のブース内で、現在開発中の新型GPSゾンデの機器・ポスター展示を行いました。

大会参加のコーディネートを依頼しているMonarch Arts & Technology社の担当者も、新型GPSゾンデの展示は、大変好評だというコメントをいただきました。

ニューヨークのIHI INC.からのサポートもあり、大変有意義なプロモーション及びマーケティング活動となりました。今後もこのような国際的な場で、IHIグループと協力し、新型ゾンデPRを展開していきます。

(当社営業担当:グローバル戦略グループ 前田 亮太)



運用開始式テープカット
右端:明星 寺島常務

航空自衛隊美保基地において新航空気象観測装置運用開始！

航空気象観測装置(J/GMQ-14)を航空自衛隊美保基地に納入いたしました。

運用開始に伴い、2月14日に運用開始式が開催されました。

J/GMQ-14は、これまで個別に整備されてきた航空気象観測用の機材(風向風速、視程、雲底高度、気温、湿度、雨量、気圧)を統合化したシステムで、屋内のデータ編集部において観測データを一括演算処理します。また、統合したことにより、屋内機で屋外機の動作状況が総括的に常時監視できます。これまでに比べ、操作性、メンテナンスの容易さなど、部隊の作業効率が格段に向上します。

美保基地では、明星電気が昨年7月に納入した「タワー・コンソール装置J/FSW-2」も運用されています。

航空自衛隊は、国の防衛と空の安全という非常に重要な任務に就いており、航空機の離発着に必要な気象データを、高い精度で観測する明星電気の航空気象観測装置が、空の安全に寄与しています。

(当社営業担当:宇宙・防衛グループ 其町 晃季)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し
安全・安心な社会の発展に貢献していきます。